



若女将
奥田 朋子さん

私は以前、京都を離れていた時期があったのですが、伝統行事や文化財、地域とのつながりなどが失われつつあることに気づきました。私たちは、今まで当たり前だと思っていた季節ごとの料理やしつらえ、花街の文化や習慣を提供するだけでなく、その一つひとつのおもてなしに込められた意味や願いをご説明し理解していただくことで、京都の魅力に気づいてもらいたいと考えています。その一方で、お客さまが求めるものは日々変化します。これからも旅館の良い点を残しながら、不易流行の精神で新しいサービスを取り入れていきたいですね。



以心伝心で届ける 京の真心

こころを込めて 我が社の おもてなし

料理旅館 白梅

料理旅館 白梅(有限会社白梅)
代表者/玉置 妙子
住所/京都市東山区八坂新地末吉町 78-6
TEL / 075-561-1459
URL / <http://www.shiraume-kyoto.jp/jpn/index.html>
事業内容/料理旅館

創業は、勤王の志士たちが駆け回っていた江戸時代末。風情あふれる祇園白川の畔で暖簾を重ねてきました。世界中の旅行者からの口コミで常に上位にランキングされるなど、その上質なサービスは高い評価を受けています。最も大切にしている「おもてなし」の基本は、お客さまとの何気ない会話や仕草などからご要望を推し量り、自分たちは何ができるかを考えるということ。例えば、「今、京都へ着いたばかりです」とおっしゃれば、どこも寄らずに来られたのだろうか？それなら宿で過ごすより祇園を散策されたいのではないかと。「今の時期はライトアップがきれいですよ」とお勧めすると大変喜んでいただけます。特に、海外からのお客さまは、旅館で宿泊することに不安を感じている方もおられます。ご予約の時から何度もメールでやり取りし、滞在中の細かなリクエストはもちろん、日本の文化・習慣に関するご質問などにお答えするようにしています。正座に慣れていないお客さまには座椅子をご用意し、「日本の方でも使っておられますよ」と説明すると安心されるそうです。「また京都を訪ねたい！そう思っていただければ嬉しいですね。桜の季節は過ぎても、祇園白川は旅人たちの賑わいであふれています。」